

一か月間、シドニー工科大学の付属語学センターであるインサーチに留学しました。インサーチではレベルによってクラス分けがあり、自分に合った授業を受けることができました。日本の英語の授業と比べて、スピーキングとリスニングに重きを置いていて、自分の苦手分野を伸ばすことができましたと思います。毎日3人ずつ、1分間のショートスピーチをする時間があり、題材は先生が決めるのですが、「自分の好きな映画について」や「自分がインスピレーションを受けた人物について」等でした。スピーチの後、先生がスピーチで話された内容についての質問をするので、スピーキングだけでなく、リスニングの力もつきました。

私のクラスは全員で20人ほどで、日本人3人、サウジアラビア人1人、それ以外は全員中国人だったため、クラスに馴染めるか不安でした。しかし、授業中に行ったスゴロクや、ランダムに作られたグループでの活動を通して、どの国の生徒とも隔たりなく仲良くなることができました。

インサーチは基本5週間で1タームで最後の週にテストがあり、そのテストで合格点を取る事ができれば、上のクラスに上がれるというきまりでした。私たちは4週間のプログラムなので、最後の週のテストを受けずに帰ってきました。他の生徒がテスト対策の勉強をしている時、先生は私には別の課題を作ってくれて、他の生徒と同様に手を抜かずに指導してくれました。そのおかげで最後まで自分の力を伸ばすことができました。

また、プログラムの一環でシドニー市内の高校を訪問し、そこで行われている日本語の授業を見学しました。日本語を選択した生徒が授業を受けているため、全員が日本文化や日本の有名人に詳しく、日本語も上手でした。生徒の子の多くがアジア人で、英語と母国語を話せる子がほとんどで、オーストラリアは多文化な国だということを再認識しました。日本語の授業でも生徒はほとんど何かを書くことはなく、先生が日本語と英語を使い説明をし、CDの日本語の会話を聞いてそれらを発音する練習をしていました。書くこと・読むことではなく、話すこと・聞くことを中心に指導する利点や難しさを勉強することができました。私は大学で日本語教育を勉強しているので、その高校訪問が非常にいい経験になったし楽しかったです。

ホストファミリーはフィリピン出身の方で、ご飯はアジア系のものであったので、日本食しか口に合わないと思っていた私でもおいしく食べることができました。ホストファミリーも日本食に興味を持ってくれていたのも、一緒に魚を買いに行き、巻き寿司を作りました。英語で作り方を教えるのは本当に難しく、前もって準備しておけばよかったと後悔しました。それでもホストファミリーは喜んでくれたのでいい思い出です。



←ホストマザーと一緒に作った巻き寿司

学校がない時間帯にはシドニー工科大学の学生さんたちが市内を案内してくれました。カフェやカジノ、様々な観光名所に連れて行ってきて、有意義な時間を過ごすことができました。学校がない週末は友達とブルーマウンテンに行ったり砂滑りしたりコアラと写真を撮るために動物園に行ったり、、とにかく遊んでいました。この時期のシドニーは夏なので海に入ることもできます。



オペラハウス



砂滑りをしたストックトン砂丘

シドニーは治安がいいし、色んな国籍の方が生活しているので、留学生に優しい良い国です。それでも事故に遭わない保証はどこにもないので、「日本より安全なところはない」ってくらいに思っただけに行くことをおすすめします。私は駅から家まで、携帯の地図を見ながら歩いている時、携帯を盗られました。周りは住宅街だったし外は明るい時間帯でしたが、それでもそういう事が起きてしまうので、なんか変だな、と少しでも思ったらホストファミリーに迎えに来てもらったり、持ち物を盗られない場所にしまったり対策するのがいいと思います。

シドニーについてすぐ、こんなハプニングを起こしてしまいましたが、ホストファミリーやインサーチの先生方、友達のおかげで、それをひっくり返すぐらい楽しくて充実した4週間を過ごすことができました。私はこのプログラムに参加するかどうかギリギリまで迷っていましたが、今は参加して本当によかったと思っています。もし行ける時間とお金がある

なら、是非留学してください！！



←シドニーの海